

小児の気管支喘息、診断数がコロナ前の4割 岡山大グループ確認 感染対策が影響か 12/3(土)山陽新聞

新型コロナウイルスの流行後、気管支喘息（ぜんそく）と診断される小児（15歳以下）患者が大幅に減少していることを、岡山大の研究グループが確認した。京都大と関わりがある企業から提供された医療データを分析。国内でコロナ感染が目立ち始めた2020年3月以降の月平均の患者数は295・5人で、それ以前の4割に減っていた。

研究を手がけた松本尚美助教（疫学・衛生学）は「マスク着用などコロナ対策の浸透で、呼吸器に影響するウイルス感染症にかかってしまう機会が減少。潜在的な患者の発症を食い止めているのではないか」としている。

気管支喘息は気道の粘膜がアレルギーなどで敏感になり、炎症が長引いてしまう疾患。国によると、国内の14歳以下の推計患者数（20年10月現在）は約53万8千人。

松本助教らはリアルワールドデータ（京都市）から提供された匿名の電子カルテデータを分析。17年1月～21年5月に喘息と診断された小児2万9845人について、20年3月を境に比較した。同2月までの月平均の患者数は668・7人だった。

国立感染症研究所（東京）の調査では、喘息を悪化させるライノウイルスの検出数も半分に減少。松本助教は「今回は短期の調査。子どもが成長した後の影響など、追跡調査を行いたい」と話している。

長期化するコロナ禍では医療機関への「受診控え」が起こったため、グループではアトピー性皮膚炎も同様に分析した。20年2月までの月平均の患者は353・4人、同3月以降は287・2人。気管支喘息ほどの差はみられなかったという。

研究成果は9月、米アレルギー喘息・免疫学会誌に掲載された。

今日のyoutube紹介下線をクリック

●青森県 新たに876人感染 4人死亡 新型コロナ 4日

<https://news.yahoo.co.jp/articles/87a546e32bd39201d5d62965c5439563c90b2a1a>

●新型コロナ長野県内で2226人感染確認 確保病床使用率70%超え

<https://news.yahoo.co.jp/articles/96f0b60953173aeded92bf5e041ca54e19ab86ac>

●全国感染者数10万9591人、重症者341人 死者180人 新型コロナウイルス

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ed0693f1a919fb3bbe7c495d187bcc7945eb2d54>

●拘束の危険も…中国に「自由を！」若者たちの決意とゼロコロナ政策の行方

<https://news.yahoo.co.jp/articles/05ded834012ff1c1a81ad1c835d46c165a454a98>

●北海道 新型コロナ 新規感染4487人 3日連続で前週の同じ曜日下回る 医療機関の負荷は高いまま

<https://news.yahoo.co.jp/articles/17ca9f804d611491689bb3d4f229ff31884698e9>

●【朗報か！】葛根湯がコロナに有効の研究結果以上に報道には出ていない“ワクチン未接種者”に朗報があった！ <https://www.youtube.com/watch?v=sdXGTESP3f4>

●〇〇すると悪化する！？【コロナ後遺症で悩んでいる方へ】

<https://www.youtube.com/watch?v=cINFgM91Pew>

今日のPDF紹介下線をクリック

●塩野義コロナ薬、後遺症治療予防の長期データも収集へ

●コロナ「5類引き下げ」議論、政府恐る恐る 失策避けたい首相、世論の行方様子見

●新型コロナを巡る「いまだ答えの出ない」3つの疑問